

令和4年度

宗谷複式教育研究連盟

定期総会・研修会



令和4年4月20日(水) 15:30～

zoom 開催

令和4年度 定期総会・研修会次第

1. 開会の言葉（事務局長）

2. 委員長挨拶

3. 報告事項

（1）令和3年度活動報告（事務局、研究部、調査・組織情宣部）

（2）令和3年度会計決算報告

（3）令和3年度会計監査報告

4. 議 事

（1）報告事項承認に関する件

（2）令和4年度活動推進計画案に関する件

①活動推進方針、計画案

②各専門部計画案

（3）令和4年度 予算案に関する件

（4）その他

5. 役員改選

6. 閉会のことば（事務局長）

令和3年度

活 動 報 告

- 4月21日（水） 令和3年度宗谷複式教育研究連盟総会（紙面議決）・第1回役員研修会
5月 7日（金） 令和3年度北海道へき地・複式教育研究連盟総会（紙面議決）
5月14日（金） 宗谷複式教育実践講座 枝幸会場（オンライン）
5月17日（月）18日（火）道へき複連第1回研究推進委員会
6月16日（水） 令和3年度 第1回市町村代表者研修会・役員研修会（オンライン）
7月12日（月）13日（火） 道へき複連第2回研究推進委員会
8月20日（金） 第3回役員研修会
9月16日（木）：第70回へき地複式教育研究大会オホーツク大会1日目
「zoom によるリモート開催」 管内9校11名リモートで参加
「礼文町立香深井小菊地校長先生が提言発表を行う」
9月17日（金）：第70回へき地複式教育研究大会オホーツク大会2日目
「zoom によるリモート開催」
10月28日（木）29日（金）：第70回全国へき地教育研究大会宮崎大会
「会合とリモートのハイブリッド大会」
駒井研究部長（枝幸町立音標小学校長）リモートで参加
11月24日（水）：猿払村教育研究大会知来別小学校授業公開（オンライン）
11月30日（火）：研究部情報発行（駒井研究部長）
12月 1日（水）：第4回役員研修会
2月10日（水）：第2回市町村代表者研修会・第5回役員研修会

.....

3月23日（水） 会計監査

令和4年度

4月20日（水） 令和4年度定期総会（紙面による議案検討）・第1回役員研修会

令和３年度 宗谷複式教育研究連盟活動の総括

昭和５８年、それまで稚内市と管内町村との２本立てで行われてきた複式教育研究を統一する組織の再編が図られ、「宗谷複式教育研究連盟」が誕生しました。当管内の各市町村の研究体制はその地域性や歴史性から一様ではありませんが、統一主題である「宗谷の風土に生きる創造性豊かなたくましい児童生徒の育成」を目指して、へき地・複式・小規模校が極めて多い宗谷の教育の充実発展に大きく寄与してまいりました。

平成２７年、「最北の風薫る宗谷の海と大地に生き 未来を担う子らに 豊かな心と確かな学びを！」を大会スローガンに１４年ぶりに第６４回全道へき地複式教育研究大会宗谷大会を全道各地より６００名の参加をいただき盛大に開催することができました。

複式校の減少や学校数の減少により、市町村ごとに実行委員会を組織するとともに、管内教育研究大会という位置づけもし、大会の方針の一つに「オール宗谷で学びの場をつくる大会に」を掲げ、宗谷管内すべての小中学校と北海道教育庁宗谷教育局、各市町村教育委員会、そしてＰＴＡ等教育関係者の協力によって運営することができました。

特にわかる授業の構築を目指す若い教員の姿、いきいきと学習し生きる力を身に付けていく子どもたちの姿に感動と成果を感じることができました。

宗谷複式教育研究連盟の事業である「宗谷複式教育研究大会」については、平成１３年度

「第５０回全道へき地複式教育研究大会宗谷大会」の成功後、平成１４年度よりブロック制を基本にして、各学校の学校研究の深化を目指し、共同研究と交流を柱としながら実践的な研究を深めてまいりました。各ブロックでは、会員はもとより、広く教育関係者のご理解とご支援で多くの困難を乗り越え、管内教育の充実発展に資する大きな研究成果や財産を残してきました。

現在、「宗谷複式教育研究大会」は、宗谷管内教育研究大会との共同開催とし、第４３回枝幸大会以降、５年が経過しました。

今年度予定されていた第４８回宗谷管内複式教育研究大会「稚内大会」は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大により開催が中止になりました。授業を公開する予定だった稚内市の学校は、稚内市教育研究会として別日程で授業の公開・研究協議を行いました。次年度は、猿払・浜頓別・中頓別大会になります。管内複式教育の貴重な学びの場として開催できることを祈るばかりです。

複式実践講座は、駒井研究部長をホストに、枝幸町中央コミュニティーセンターからオンラインでの開催になりました。北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター副センター長の川前あゆみ教授に講師をお願いして、「これからの複式教育—デメリットをメリットに一」と題した講座を開催しました。へき地性・小規模性・複式形態のへき地の三特性にある課題が利点になることや教科指導等、ベテランから初めて複式学級を受け持つことになった先生にも安心して学級経営ができるヒントがたくさん盛り込まれた講座でした。今後オンラインによる研修や研究会の開催も研究を継続させるための方法としては、有効かと思います。加えて、オンライン授業の可能性や研究を宗復連として追及することも必要かと思います。

学校統廃合等で宗谷管内のへき地教育を取り巻く状況は、年々厳しいものになってきております。しかし、時代の急激な変化に翻弄されることなく、５０年間の歴史に学んできた着実な実践研究と「五つの財産」をもとに、新たな展望を見いだしていきたいと考えております。

① 宗複役員研修会・市町村代表者研修会について

コロナ禍で4月の総会は、縮小し紙面による議案書検討をしていただきました。第1回目の市町村代表研修会、並びに役員研修会については、zoomによるオンラインでの会議となりました。第3回、第4回役員会議については、会同行うことができました。オンライン会議は、宗谷管内の地域性、感染防止の観点で有効であり、検討事項についての交流等も十分にできたと感じています。今後も、会議の持ち方については、役員や代表の意見に耳を傾け、工夫したいと考えています。

② 教育団体との連携・寄稿・執筆等

○宗谷管内教育研究連携会議(宗谷管内教育研究大会実行委員会)

会議出席(小島委員長、黒木事務局長)

○第70回全道へき地複式教育研究大会オホーツク大会

大会リモート出席(駒井研究部長)

○全国へき復HPへの寄稿協力(枝幸町)

① 学習指導案～枝幸町立風烈布小学校 教諭 佐野 泰斉(令和4年2月掲載予定)

② 保健室より～枝幸町立音標小学校 養護教諭 剣持 流美菜(令和4年4月掲載予定)

③ 実践研究 ～枝幸町立岡島小学校 教諭 矢野 純弥(令和4年5月掲載予定)

◇今後の執筆者ローテーション

令和4年度	豊富町	幌延町
令和5年度	礼文町	利尻町 利尻富士町
令和6年度	稚内市	
令和7年度	猿払村	
令和8年度	枝幸町	

令和3年度 宗複連研究部・活動総括

I 研究主題

宗複研究主題 『宗谷の風土に生きる創造性豊かなたくましい児童の育成』
～地域性を生かし、一人一人を伸ばす小規模校教育の推進～

北海道へき地・複式教育研究連盟 研究主題

『主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった人間性豊かな子どもの育成』
～児童一人一人が仲間とつながり、
地域とともに「生きる力」を伸ばす学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

II 研究推進の方針

- (1) 宗谷管内の小規模校の教育課題を共同の力で解決する方策を視点として推進にあたり、教育活動の質的向上と充実に努める。
 - ・どのような教育実践が管内各地、各学校でなされているか。 [実態の把握]
 - ・新学習指導要領実施による教育課程の創意工夫は何か。 [方策の還元]
- (2) 本連盟の研究推進の充実・創造的発展の推進役となり、研究の主旨、内容を各市町村に広く働きかけるとともに連絡・調整にあたる。

III 今年度の重点事項

- (1) 管内複式教育実践講座の実施
- (2) 道へき・複連との研究連携

■全道へき複研大会オホーツク大会への参加の呼びかけ
特に、一般教諭が参加できるような校内体制を依頼する。

IV 具体的活動内容

- (1) R3年度・第5回宗谷管内複式教育実践講座実施

→R2年度中にコロナに対応できるよう準備を進め、リモートで開催した。

反省からは、時期、方法、内容とも良いという評価が多く、宗谷の地理的環境を考慮すれば今後リモートを含む開催方法が良いと考える。

- (2) 管内への情報発信調査・情宣部と連携（HPへの掲載）

- ・研究部情報（役員研修会の内容）の発行
- ・複式教育実践講座の内容紹介
- ・研究大会参加報告

→研究部情報、ホームページにより実践講座や全国大会について情報発信を行った。

- (3) 道へき・複研究大会等の情報の収集と発信

- ・全道へき地複式教育研究大会 オホーツク大会 9月18日（金）

※ 一般教諭の研究大会参加推進

→オホーツク大会提言校1、参加校7

リモート開催となったことで多くの学校が参加できた。

→宮崎全国大会についても1校参加、研究部情報を通して情報発信を行った。

令和3年度 宗谷複式教育研究連盟 調査情宣部 活動の総括

令和4年2月12日

調査情宣部長 荒谷 卓朗

1 活動方針

- (1) 本連盟の研究や運営に関する会員の意向を広く調査し、本研究会の自主的運営の貴重な資料とする。
- (2) 管内のへき地複式校や複式教育研究会の活動の様子について交流を図る。
- (3) へき地小規模校の課題や実践を把握し、その対策について検討を図る。

2 活動計画

- (1) 管内複式研究会活動の交流を図り、各市町村組織の研究・交流、学校研究の充実に寄与する。
- (2) 小規模校や複式学級における特色ある活動や指導実践を情報化し、会員相互の連帯を強め、資質の向上に資する。
- (3) 今後の本連盟の研究や運営に向けて、アンケートや意識調査を行う。

3 具体的業務計画・担当

- (1) 複式校間の情報交流推進、ホームページ掲載

(HP 担当：複数校市町村から互選) 猿払 R1～3⇒稚内 R4～5⇒枝幸 R6～7

令和4年度 担当校 ()

R3⇒稚内市 6、枝幸町 5、猿払村 3、礼文町 1、幌延町 1、利尻町 1、利尻富士町 1、豊富町 1

- ①「管内複式校一覧」～研究部と連携して学校情報をクラウド上に集約する。
- ②「複式校紹介」～フォームなどを活用し、加盟校の紹介文を集約・掲載する。
- ③複式校をつなぐ交流「あしたもともだち」の編集
年1回発行～12月7日依頼→1月31日×→2月ホームページ掲載
※事務局校が各市町村の活動をA4版1頁にまとめて紹介

- (2) 本連盟の運営や今後の方向性についてのアンケートや意識調査の実施
- (3) 道へき・複のアンケート調査の協力
- (4) 宗谷複式教育研究連盟HPを通した研究活動の管内・管外への発信
 - ① 各種事業等の成果や課題についての掲載
 - ② 各市町村複式教育研究大会に係る指導案や実践事例の集約・掲載

4 総括

- (1)「管内複式校一覧」は、研究部集約の学校情報に様式を一本化しクラウド上で共有。
複式校紹介は、google スプレッドシートに情報集約し、8月末HP掲載できた。
- (2)「あしたもともだち」は、状況を鑑み、1月末にデータ集約、2月HP掲載。
- (3) 活動の改善にむけ、必要に応じて google フォーム等を活用して調査を行う。
- (4) 各種アンケートや調査は、事務局・研究部と連携し対応。
- (5) 猿払村（知来別小・オンライン）と連携して複式授業を公開した。（参加2名）
各市町村研究活動は研究部と連携してクラウド上で情報共有し、活用について周知した。

令和3年度 宗谷複式教育研究連盟会計 決算報告

収入の部

項 目	R3予算	R3決算	摘 要
繰越金	302,836	302,836	R2年度より
市町村負担金	932,646	891,212	宗複541,100 道へき複241,512 全へき複89,600 管理職運営負担19,000
運営基金	53,000	35,000	採用校長5名 昇任教頭5名
その他	4	2	受取利子2
合計	1,288,486	1,229,050	

支出の部

項 目	R3予算	R3決算	摘 要
総会費	60,000	0	書面審議のため、開催に伴う旅費・昼食代の執行なし
研究大会費	50,000	80,000	研究大会会場校補助4校分
会議費	45,000	9,768	役員研修会に伴う会場使用料・昼食代
旅費	400,000	66,780	役員研修会出席者旅費／道へき複大会参加費執行なし 全へき複大会オンライン参加費
専門部費	10,000	0	執行なし
研究費	100,000	39,044	教育実践講座講師お土産代・送料／準備業務旅費 書籍「複式の君へ」購入(加盟校分)
事務局費	30,000	48,334	郵券代・送金手数料 レンタルサーバ使用料
負担金	570,000	423,112	道へき複負担・全へき複負担 管理職運営負担・運営基金
会計補償費	10,000	10,000	会計業務に対し定額執行
予備費	13,486	5,000	宗谷美術展後援会費
合 計	1,288,486	682,038	

総収入		総支出		残 金
1,229,050	—	682,038	=	547,012

監査報告

1. 関係諸帳簿・領収書・口座通帳などについて、下記の期日に監査いたしました。
2. 金銭出納ならびに各種記録について、適正に処理されていることを認めます。

令和 4 年 3 月 23 日

監査 杉本 浩一



監査 中村 繁仁

